

EEM430 フロントランナー

4年 3,4クォーター

担当教員 米沢 晋, 葛生 伸

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 未定

授業概要

企業の最先端で活躍している経営者や研究者にお願いし、仕事の内容やMOT（マネジメント・オブ・テクノロジー）の紹介と共に仕事に対する考えや自分の将来の夢について、自身の経験をもとに語って頂く。社会の第一線で活躍している人、特に学生自身のキャリアの今後の実例となる人と触れ合うことにより、自身の将来と社会に対する期待感を内面から高めることを目的とする。特に、地域のものづくり企業において、製造技術開発を行いながら、製品を商品とするための価値創造について、国内外の市場において情報収集や交渉の経験を有する方々に講義をお願いしつつ、キャリア形成に対する考え方をまとめて行くために必要な予備知識などの習得とあわせて講義を進める。

到達目標

- ・企業で働くことの意味、キャリア形成の実際についての理解
- ・様々な業種において大学で学ぶことがどのように現場で生きるのかについての理解
- ・学習意欲の増大、特に自学自習意識の高揚

先修科目

なし

教科書・参考資料等

話題提供者によるレジュメ

授業の方法

レジュメを参考にしながら個々のトピックスに関する説明を行う。に自らのキャリア感を考えながら講義の要約と感想をレポートとして記すほか、必要に応じて演習的な議論を行い、結果をレポートする。

成績評価

レポートによる

成績

100% レポート

授業スケジュール

第1回【講義】フロントランナーから学ぶ姿勢

フロントランナーの意味や学習の狙いについて理解する。

第2回【講義】企業技術者が考えるキャリア教育①

キャリアとは何かを企業技術者のトピックスから学ぶ。

第3回【講義】企業技術者が考えるキャリア教育②

企業技術者目線で語られるキャリアアップの重要性について学ぶ。

第4回【講義】企業技術者が考えるキャリア教育③

企業技術者目線で語られるキャリア形成方法について学ぶ。

第5回【講義】企業技術者が考えるキャリア教育④

企業技術者目線で語られる創業力について学ぶ。

第6回【講義】地域企業における技術開発現場と大学での学び①

地域企業技術者による開発経験やキャリア形成例などを聞き、大学で学習することの意義について学ぶ。

第7回【講義】地域企業における技術開発現場と大学での学び②

地域企業技術者による開発経験やキャリア形成例などを聞き、大学で学習することの意義について学ぶ。

第8回【講義】地域企業における技術開発現場と大学での学び③

地域企業技術者による開発経験やキャリア形成例などを聞き、大学で学習することの意義について学ぶ。

第9回【講義】企業における多様なキャリアパスと創造性①

企業技術者が持つ様々なキャリアパスについて知り、仕事をするうえで重要な創造性の涵養に何が必要かを学ぶ。

第10回【講義】企業における多様なキャリアパスと創造性②

企業技術者が持つ様々なキャリアパスについて知り、仕事をするうえで重要な創造性の涵養に何が必要かを学ぶ。

第11回【講義】産学連携の様々な形態と学生時代に身につけたい素養①

産学連携の多様性を整理し、産業界で活躍する社会人となるために必要な素養を考察した上で、これを身につけるために大学で学習すべき内容について個々の立場に合わせて考える。

第12回【講義】産学連携の様々な形態と学生時代に身につけたい素養②

産学連携の多様性を整理し、産業界で活躍する社会人となるために必要な素養を考察した上で、これを身につけるために大学で学習すべき内容について個々の立場に合わせて考える。

第13回【講義】企業の国際展開と課題①

グローバルビジネス展開についてのトピックスを知り、今後の展開に際して解決すべき課題を抽出、対処方法について考える。

第14回【講義】企業の国際展開と課題②

グローバルビジネス展開についてのトピックスを知り、今後の展開に際して解決すべき課題を抽出、対処方法について考える。

第15回【講義】これからの社会をいきいきと創造的に生きていくには

ここまでの講義内容を総括し、様々なヒト、モノ、コト、経験から学ぶことの大切さを認識する。

第16回【講義】レポート講評

提出されたレポートの内容を整理し、内容を共有することで自学自習の重要性を考える。

事前・事後学習

外部講師の先生の話の伺うときには、講師の所属先の企業などのホームページを見て、会社の概要を予習しておくこと。その他の事前学習課題は福井大学ポータルに記載する。事後に、講義の要約と感想のレポートを提出する。その他、必要に応じて課題を課す。